



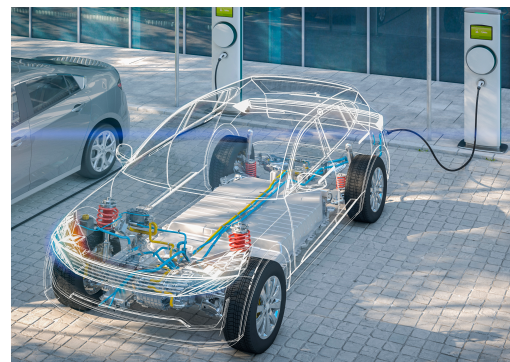
ロシアのウクライナ侵攻、中国の膨張主義、自国至上主義の台頭など、国際情勢は不安定さを増しています。そんな中、安定した社会基盤を持つ日本は、投資先として国際的な評価を高めています。また、カントリーリスクの高まり、人件費の高騰などにより日本企業が生産拠点を国内に戻す動きも活発化しています。この機会を逃さず日本の力を総点検。日本の強みを見つけ、官民あげて集中投資。国内のモノづくりを再生する。国内で稼ぐ力をつけて、賃金を上げ、経済の好循環を実現し、豊かな暮らしをつくれます。

国内シフトを支援

海外に展開する企業の4社に1社が国内回帰や国産品への変更を検討。経済安保の観点からも、生産拠点の国内移転を支援します。

トヨタが、ホンダが！蓄電池の国内工場を新設

EV(電気自動車)の生命線・蓄電池。国はホンダ・GSユアサの国内新工場に1600億円、トヨタ・パナソニックには1200億円を助成。蓄電池の国内生産体制を強化します。



付加価値の6割を日本で
キヤノンCEO

地産地消で
カントリーリスクを軽減
JVCケンウッド

メイドインジャパンこそ
ブランド価値
資生堂CEO

中国は工場ではなく市場
アパレルメーカー社長

国内調達で地域活性化！

2030年までに原発10基分、1000万Kwを導入、2040年までに製造・維持管理・撤去の工程の6割を国内化。再生可能エネルギーの生産と、地域経済の活性化を両立します。



浮体式洋上風力発電

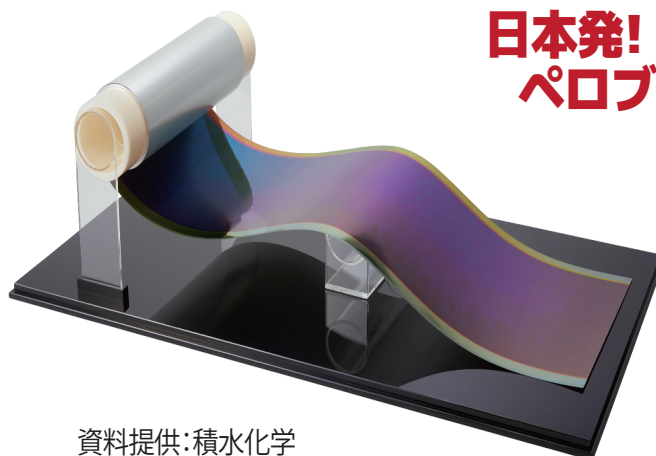
もう一度 国内で稼ぐ力 を取り戻す！

平時は通常薬、緊急時はワクチンを製造

感染症が流行した時にはワクチン、平時には通常薬を生産するデュアルユース型の工場に関連する17事業に2200億円を助成。国内でバイオ技術を育成、ワクチン生産能力を確保します。

日本が世界をリードする全固体電池

電池の中身は「液体」という常識を覆す「全固体」電池は形状が自由で、小型・大容量、寿命が長く安全で、高速充電も可能な次世代の蓄電池です。



資料提供:積水化学

日本発! 薄く、軽く、曲がる ペロブスカイト太陽電池

壁や車の屋根など様々な場所に設置できます。また印刷により生産でき、低コスト化も可能。中国が世界生産の7割を握るシリコンを使用せず、安価で手に入りやすい材料だけで製造が可能な、日本で発明された太陽電池です。

人口増、新店舗、内定続々。まちが一変!

台湾の半導体メーカーTSMCの工場を熊本に誘致したことで、経済効果は10年で4.3兆円、雇用効果は直接雇用の1700人を含め7500人と試算されています。賃金も高水準です。さらにTSMCの第2工場をはじめとして、約80社が熊本県内に拠点施設や工場の増設を検討しています。国は4760億円を助成しますが、税収増は5~6000億円と試算され、直接的な税収の増加だけで助成額と同等となると見込まれます。



TSMC熊本工場

原野を2年で最先端工場に! 北海道・ラピダス

半導体企業のラピダスが北海道に進出。世界最先端・回線幅2ナノ(ナノは10億分の1)メートルの半導体の量産を目指します。総投資額は5兆円。国はそのうち3300億円の助成を決定しています。北海道は半導体生産に不可欠な水、再生可能エネルギーが豊富で、今後はその特徴を活かし、ラピダスを中心とした「北海道バレー」による地域の振興も期待されます。



資料提供:Rapigus(株)

https://www.rapigusinc/news_topics/news-info/project-briefing-session-2/

eメタンやeフュエルなど 現在のインフラを活用できる合成燃料

自動車に入れられるe-フュエル、都市ガスの代わりに使用できるe-メタンなど脱炭素の合成燃料により、現在のインフラを有効活用します。

100分の1の電気で100倍の高速通信網

電気の代わりに光を使う「光半導体」と光ファイバーを組み合わせた光ネットワークを構築。電気⇄光の変換の必要がない、超高速、超低電力の次世代通信網を2030年までに実現します。

新技術で
未来を拓く

政府の基金も活用し、重要な戦略分野において海外企業の誘致を進め、2030年までに海外から100兆円の投資を呼び込みます。

対日投資
を倍増